

# 「週休2日工事」の実施要領

## 1. 趣旨

持続可能な建設産業を構築するためには、建設産業従事者の就労環境を改善することが重要であり、中でも建設現場における休日確保への取組が、若手技術者を始めとする担い手の確保と育成を進める上で、課題となっている。

このため、本要領は「週休2日」の実現に向け、週休2日の確保に取り組む工事（以下「週休2日工事」という。）の実施方法等を定めたものである。

## 2. 用語の定義

### ①「週休2日工事」

- (1) 「週休2日」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (2) 「対象期間」とは、現場作業着手日から現場作業完了日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- (3) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。
- (4) 「4週8休以上」とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日/28日）の水準以上に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

### ②「週休2日交替制モデル工事」

- (1) 「週休2日交替制」とは、対象期間において、技術者及び技能労働者が交替しながら4週8休以上の休日を確保する取組をいう。
- (2) 「対象期間」とは、現場作業着手日から現場作業完了日までの期間をいう。なお、年末年始6日間<sup>※1</sup>、夏季休暇3日間<sup>※1</sup>、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

下請企業については施工体制台帳上の工期<sup>※2</sup>を基本とする。

※1 年末年始6日間、夏季休暇3日間については、対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者それぞれが休日を確保出来ていればよい。

※2 施工体制台帳上の工期のうち実働期間が分散している場合には、受発注者協議で対象期間を設定するものとする。

- (3) 「4週8休以上」

対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日日数の割合（以下、「休日率」という。）が、28.5%（8日/28日）の水準以上に達する状態をいう。なお、降

雨、降雪等による予定外の休日についても、休日日数に含めるものとする。

### 3. 対象工事

現場作業を行う期間が1週間以上の全ての工事を対象とする。（「週休2日交替制モデル工事」の場合は、「現場作業を行う期間」を、「技術者及び技能労働者が従事する期間」に読み替える。）

なお、営繕系工事については、別に定める「山口県営繕系工事における「週休2日モデル工事」の試行要領」によるものとする。

### 4. 発注方式

「週休2日工事」については、次のいずれかによる方式を基本とする。

現場閉所が馴染まない工事については、5. の「週休2日交替制モデル工事」として発注することを原則とする。

#### (1) 発注者指定型（原則、請負対象設計額1億円以上の工事は全て対象）

発注者が、発注時から、受注者に対して週休2日に取り組むことを指定する方式。

次のいずれかに該当する工事は対象外とする。

- 1) 現場施工が1週間未満の工事
- 2) 緊急対応が必要な工事
- 3) 災害復旧工事など、早期の工事完成が必要とされる工事

#### (2) 受注者希望型

受注者が、工事着手前に、発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議したうえで取り組む方式。

次のいずれかに該当する工事は対象外とする。

- 1) 現場施工が1週間未満の工事
- 2) 緊急性が高い工事など、現場閉所が馴染まない工事

なお、週休2日工事（受注者希望型）については、現場作業着手前に限り、受注者が発注者に協議したうえで、週休2日交替制モデル工事に変更することができる。

### 5. 週休2日交替制モデル工事

受注者が、工事着手前に、発注者に対して週休2日交替制に取り組む旨を協議したうえで取り組む方式。

現場閉所が馴染まない工事に適用するものとし、受注者希望型により発注するものとする。

次に該当する工事は対象外とする。

- 1) 技術者及び技能労働者が現場に従事する期間が1週間未満の工事
- 2) 港湾工事

### 6. 実施方法等

#### 【発注方法】

- (1) 発注者は、週休2日工事の発注にあたって、入札公告に発注方式（週休2日（発注者指定型）、週休2日（受注者希望型）、週休2日交替制モデルのいずれか）や、施工条件書に適用の有無等を明示（別紙1参照）する。
- (2) 工期の設定にあたっては、「工期設定支援システム（山口県版試行）」等を活用し、積上げ法により算定することを原則とする。ただし、システムを活用した工期が実態と合わない想定されるものについては、この限りではない。

このほか、工期設定の考え方については「土木工事における適正な工期設定の考え方（令和2年9月（令和3年11月改訂）山口県土木建築部）」によるものとする。

#### 【実施方法】（別紙3参照）

- (1) 「週休2日工事（発注者指定型）」においては、契約後、発注者が作成した「工事工程表（参考）」を基に発注者と施工条件の確認協議（打合せ）を行い、受発注者間で、工事工程のクリティカルパス等を共有するものとする。
- (2) 「週休2日工事（受注者希望型）」又は「週休2日交替制モデル工事（受注者希望型）」の受注者は、契約後速やかに、発注者と施工条件の確認協議（打合せ）を行った上で、「週休2日」の実施希望の有無について、発注者に書面で協議するものとする。なお、「週休2日」の実施を希望する場合は、施工計画書の提出までに必要工期について発注者と協議するものとするが、工期延伸の必要がない場合は、必要工期に関する協議を要しない。
- (3) 発注者は、受注者から必要工期について協議があった場合は、「工期設定支援システム（山口県版試行）」により妥当性を確認し、「週休2日」を実施するために工期の延伸が必要と認められる場合は速やかに工期延伸に係る契約変更を行うものとする。

なお、工程の変更理由が以下の1)～5)に示すような受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行う。

- 1) 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- 2) 著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生した場合
- 3) 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- 4) 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- 5) その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

#### 【「週休2日」の確認方法】

##### ①週休2日工事（発注者指定型又は受注者希望型）

- (1) 受注者は、「週休2日工事」を実施する場合、施工計画書に「週休2日」の確保が確認できる工程表（計画工程表）を添付し監督職員に提出する。
- (2) 災害時等の緊急対応及び品質管理・安全管理等のため、現場閉所を計画していた日（休工日）に現場作業を行う場合は、原則、当該週において休工日を振替できるものとする。この場合は、事前に振替日とその理由について監督職員と協議するものとする。
- (3) 受注者は、(1)の工程表（計画工程表）に基づく実施状況を確認できる実施工程表（別

紙4参照)を、翌月初めに、監督職員へ提出するものとする。

- (4) 発注者は、実施工程表や出面表等により、現場閉所の状況を確認する。確認する期間は、現場作業着手日から現場作業完了日までとする。

## ②週休2日交替制モデル工事（受注者希望型）

- (1) 受注者は、技術者及び技能労働者の休日確保状況を確認する方法を具体的に明示した施工計画書を提出のうえ、工事着手前に監督職員と協議するものとする。

(休日確保状況の確認方法の例：工事着手前に、対象となる技術者及び技能労働者の工事着手後の休日取得計画書を提出し、その後は、1ヶ月単位で当月の勤務実績表と翌月の休日取得計画書を提出する。工事完了後は、勤務状況が確認できる書類（休日実績が記録された工程表や出面表等）を監督職員に提示する。)

- (2) 発注者は、施工計画書に明示された確認方法により、休日確保状況を確認するものとする。

## 7. 補正方法等

- (1) 補正係数

別紙のとおり。

- (2) 補正方法

- 1) 発注者指定型

発注時は、4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じたうえで予定価格を作成するものとする。

なお、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たないものは補正分を減額する契約変更を行う。

- 2) 受注者希望型

発注時は、週休2日の取組に係る経費の補正を行わずに予定価格を作成するものとする。精算時には、対象期間中の現場閉所の達成状況に応じて、各経費を補正したうえで契約変更を行う。ただし、4週6休に満たないもの、工事着手前に週休2日に係る協議が整わなかったものについては、補正の対象としない。

## 8. 工事成績評定

### ①週休2日工事（発注者指定型又は受注者希望型）

- (1) 発注者は、対象期間内に、発注者指定型については「4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）」、受注者希望型については「4週6休以上（現場閉所率21.4%（6日/28日）以上）」の現場閉所が確認された場合に、工事成績評定の考査項目別運用表の「工程管理A」、「工程管理B」において評価を行う。
- (2) 発注者指定型で、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られず、週休2日を達成できなかった場合については、内容に応じて点数を減ずる措置を行うものとする。
- (3) 受注者希望型では、受注者の責において週休2日の現場閉所を達成できなかった場合であっても減点を行わない。

(4) 提出資料への虚偽の記載等が工事中又は工事完了後に判明した際には、不誠実な行為として取り扱う場合がある。

## ②週休2日交替制モデル工事（受注者希望型）

上記①（1）（3）の「現場閉所」を「技術者及び技能労働者の休日確保」に読み替えるものとする。

なお、提出資料への虚偽の記載等が工事中又は工事完了後に判明した際には、不誠実な行為として取り扱う場合がある。

## 9. 週休2日（モデル）工事履行証明書

発注者は、週休2日工事又は週休2日交替制モデル工事で4週6休以上を達成し、その完成検査に合格した受注者に対して、工事成績評定通知時に「週休2日（モデル）工事履行証明書」を発行するものとする。ただし、発注者指定型については、4週8休以上の達成が確認された場合に発行する。

履行証明書については、週休2日交替制モデル工事の場合は、「週休2日工事」を「週休2日交替制モデル工事」に、「現場閉所率」を「技術者及び技能労働者の休日率」に読み替えるものとする。

## 10. 工事標示板

週休2日工事の受注者は、週休2日の現場閉所に取り組んでいることを、工事標示板に明記するものとする。（別紙5参照）

## 11. その他

受注者は、監督職員からアンケート調査の依頼があった場合には、協力するものとする。

附 則

この要領は、平成30年5月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和2年5月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和3年5月6日から適用する。

附 則

この要領は、令和3年7月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和4年5月1日から適用する。

## 【土木工事】、【機械設備工事】

<補正係数（週休2日工事）>

現場閉所率に応じて、それぞれの経費に以下の補正係数を乗じる。なお、市場単価方式については、**別表**に示す補正係数を乗じるものとする。

- 1) 4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）
  - ・労務費 1.05
  - ・機械経費(賃料) 1.04
  - ・共通仮設費率 1.05
  - ・現場管理費率 1.07
  
- 2) 4週7休以上4週8休未満（現場閉所率25%（7日/28日）以上28.5%未満）
  - ・労務費 1.03
  - ・機械経費(賃料) 1.03
  - ・共通仮設費率 1.04
  - ・現場管理費率 1.05
  
- 3) 4週6休以上4週7休未満（現場閉所率21.4%（6日/28日）以上25%未満）
  - ・労務費 1.01
  - ・機械経費(賃料) 1.01
  - ・共通仮設費率 1.03
  - ・現場管理費率 1.04

<補正係数（週休2日交替制モデル工事）>

技術者及び技能労働者の休日率に応じて、それぞれの経費に補正係数を乗じる。

- 1) 4週8休以上（休日率28.5%（8日/28日）以上）
  - ・労務費 1.05
  - ・現場管理費率 1.03
  
- 2) 4週7休以上4週8休未満（休日率25%（7/28日）以上28.5%未満）
  - ・労務費 1.03
  - ・現場管理費率 1.02
  
- 3) 4週6休以上4週7休未満（休日率21.4%（6/28日）以上25%未満）
  - ・労務費 1.01
  - ・現場管理費率 1.01

**【港湾工事】**

別途通知する「港湾工事における「週休2日モデル工事」の補正方法等の取扱いについて」による。なお、通知文中の「週休2日モデル工事」については、「週休2日」と読み替えるものとする。

**【空港土木工事】**

対象工事は、原則として、空港請負工事積算基準を適用する全ての工事（ただし、維持工事は除く。）とする。

## &lt;補正係数&gt;

対象期間における現場休工の達成状況に応じて、以下の補正対象経費に補正係数を乗じる。なお、市場単価方式については別表の補正係数を乗じるものとする。

- 1) 4週8休以上（現場閉所率28.5%（8/28日）以上）
  - ・労務費 1.05
  - ・機械経費(賃料) 1.04
  - ・共通仮設費率 1.03
  - ・現場管理費率 1.04
- 2) 4週7休以上4週8休未満（現場閉所率25%（7/28日）以上28.5%未満）
  - ・労務費 1.03
  - ・機械経費(賃料) 1.03
  - ・共通仮設費率 1.02
  - ・現場管理費率 1.03
- 3) 4週6休以上4週7休未満（現場閉所率21.4%（6/28日）以上25%未満）
  - ・労務費 1.01
  - ・機械経費(賃料) 1.01
  - ・共通仮設費率 1.01
  - ・現場管理費率 1.01

（注1）適用する積算基準により補正する経費対象が異なる場合

○積算基準が異なる複数工種区分を有する工事については、主たる工種の間接工事費率を適用する。

（注2）土木工事標準単価の場合

○物価資料（デジタル土木コスト情報）に該当工種の週休2日補正単価が掲載されている場合に限り、現場閉所率に応じた補正単価を適用する。（ただし、港湾工事を除く）

## 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数		
		4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上
鉄筋工		1.01	1.03	1.05
ガス圧接工		1.01	1.02	1.04
インターロッキングブロック工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.01	1.03	1.04
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.00	1.01	1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02	1.03
道路標識設置工	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去・移設	1.01	1.03	1.04
道路付属物設置工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05
法面工		1.00	1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.02	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.01	1.03	1.05
	剪定	1.01	1.03	1.05
公園植栽工		1.01	1.03	1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.00	1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.01	1.02	1.04
橋面防水工		1.00	1.01	1.02
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01	1.01
軟弱地盤処理工		1.00	1.01	1.02
コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）		1.00	1.01	1.01



## 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数（下水道工事）

名 称	規格・仕様	補正係数		
		4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
砂基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05
砂基礎工	機械施工	1.01	1.03	1.05
碎石基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05
碎石基礎工	機械施工	1.01	1.03	1.05
組立マンホール設置工		1.01	1.03	1.05
小型マンホール工		1.00	1.00	1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1.00	1.01	1.02

# 入札公告

次のとおり一般競争入札を実施します。

令和〇年〇月〇日

〇〇土木建築事務所長 〇〇 〇〇

## 1 入札に付する事項

### (1) 工事名

令和〇年度 〇〇〇〇線 △△△△工事 第◇◇工区

### (2) 工事場所

〇〇市大字△△字◇◇から同市大字☆☆字◆◆までの間

### (3) 工事の概要

工 事 内 容
L = 〇〇m
△△工 ◇◇m
▲▲工 ☆☆m <sup>2</sup>
◎◎工 ▽▽m <sup>3</sup>
◆◆工 1式

### (4) 工期

契約締結日の翌日から工事着手期限日までの間で受注者が選択する工事着手日から〇〇日間

### (5) その他

本工事は、**\*\*\*\*工事（\*\*\*\*\*型）**の対象工事である。

**\*\*\*\*工事（\*\*\*\*\*型）**には、該当する発注方式を入力する。

本工事は、**週休2日工事（発注者指定型）**の対象工事である。

または

本工事は、**週休2日工事（受注者希望型）**の対象工事である。

または

本工事は、**週休2日交替制モデル工事（受注者希望型）**の対象工事である。

：

この公告に定めのない事項については、入札条件及び指示事項又は設計図書のほか、各入札制度要領等に定めるところによる。

### 工期設定支援システム（山口県版試行）利用手順

本システムは、受注者から協議のあった必要工期について、発注者が妥当性を確認するため、使用するものであり、以下の手順によって工期の算定を行う。

#### 【1】工事情報の入力について

工事情報欄の水色のセル（工事名、事業区分、工事区分、工期（システム算定前）、直接工事費、雨休率）を入力する。

工事情報欄の黄色のセル（準備工日数、後片付け工日数、算定式による日数）は、自動入力される。

#### 【2】工種、種別、細別、規格、単位、数量の入力について

積算システムで数量総括表をエクセル出力し、工種、種別、細別、規格、単位、数量をコピー&ペーストするなどの方法で入力する。

（注1）「準備工」及び「後片付け工」の行は、編集しないこと。

（注2）行や列の追加や削除はしないこと。

#### 【3】日当り作業量の入力について

設計標準歩掛表及び作業日当り標準作業量データを参考に、日当り作業量を入力する。

【1】で入力した数量と日当り作業量から、標準作業日数及び雨休率考慮日数が自動計算される。

#### 【4】雨休率について

工事情報欄に記載のある雨休率が表示される。

「準備工」及び「後片付け工」は、1.00を初期値とする。

#### 【5】班数の入力について

各工種のパーティー数を入力する。

#### 【6】クリティカルパスの入力について

各工種のクリティカルパス（施工順序）を入力する。ただし、別工程の工種は、A～Zを入力する。

## 【別紙 2】

### 【7】工期の算定及び判定について

【1】～【6】の入力が完了したら、工種を入力していない行の I 列の数式を削除（#DIV/0! を取り除く）した後、[工期算定]ボタンをクリックすると、工期が自動で算定される。

工程表工期日数が、標準工期試算式による日数の－10%以上の工期日数であれば「-」、それ以外は「工期要確認」となる。

別工程の工種（A～Z）については、M列に任意の開始日を入力する。

### 【8】再算定について

【1】～【6】で入力した内容を修正する場合は、必ず[リセット]ボタンをクリックし、算定結果を削除した上で、内容を修正し、再度[工期算定]ボタンをクリックする。

(注) [リセット]ボタンをクリックせずに再度[工期算定]ボタンをクリックすると、正しい工期が算定できません。

### 【9】不要行の取扱いについて

工種が入力されていない不要な行は、削除ではなく、非表示とする。

(注) 行を削除すると、再算定できなくなる。

《工事情報等》			
工事名称	〇〇道路工事		
事業区分	道路新設・改築	直接工事費(円)	20,000,000円
工事区分	道路改良	準備工(日数)	40日
工期自	2022年5月6日	後片付け工(日数)	20日
工期至	2022年11月30日	雨休率(係数)	1.80
工期日数(至-自)	209日	算定式による日数	201日
工程表工期日数	20日	判定 >>>>>	工期要確認

【別紙2】

R0404版

工期算定

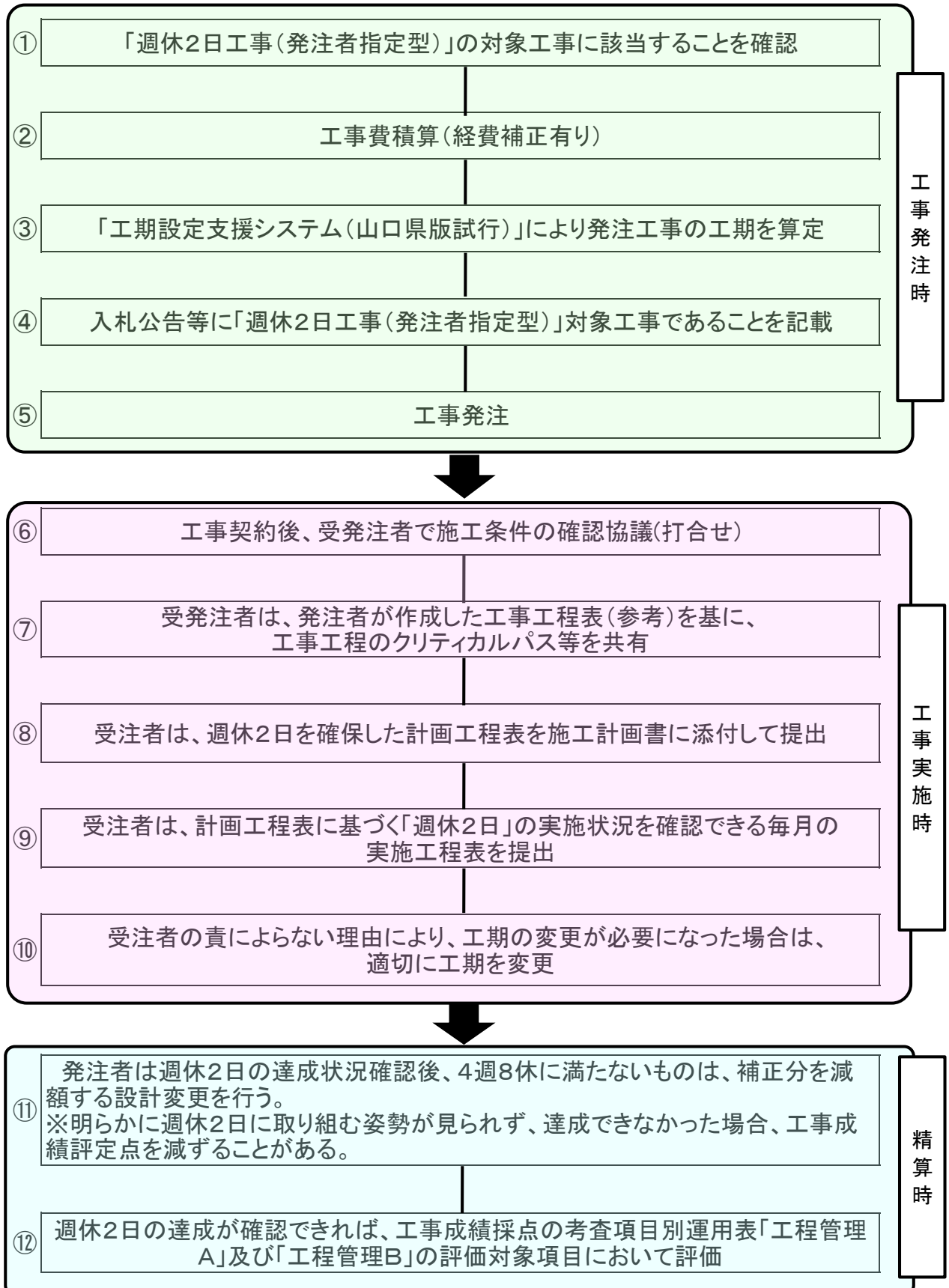
リセット

※工事抑制期間については、合計日数をL379に入力してください。 ↓工事抑制期間(L379)  
↓4週8休(α:0.8)

No.	工種	上段:種別 下段:細別	規格	単位	数量	金額	1班当り			雨休率 (実作業に 対する割 増係数: α)	抑制 期間	期間1					摘要	
							日当り作業量	標準作業日数	雨休率考慮日数			開始	日数	班数	クリ パステ イカル	雨休		終了
							①	②	③			④	⑤					
	準備工	準備工 準備工		式	1	0		40	40	1.00		0	40	1	-	40	39	
1					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
2					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
3					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
4					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
5					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
6					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
7					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
8					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
9					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
10					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
11					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
12					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
13					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
14					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
15					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
16					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
17					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
18					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
19					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
20					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
	後片付け工	後片付け工 後片付け工		式	1	0		20	20	1.00	0	0	20	1	-	20	19	

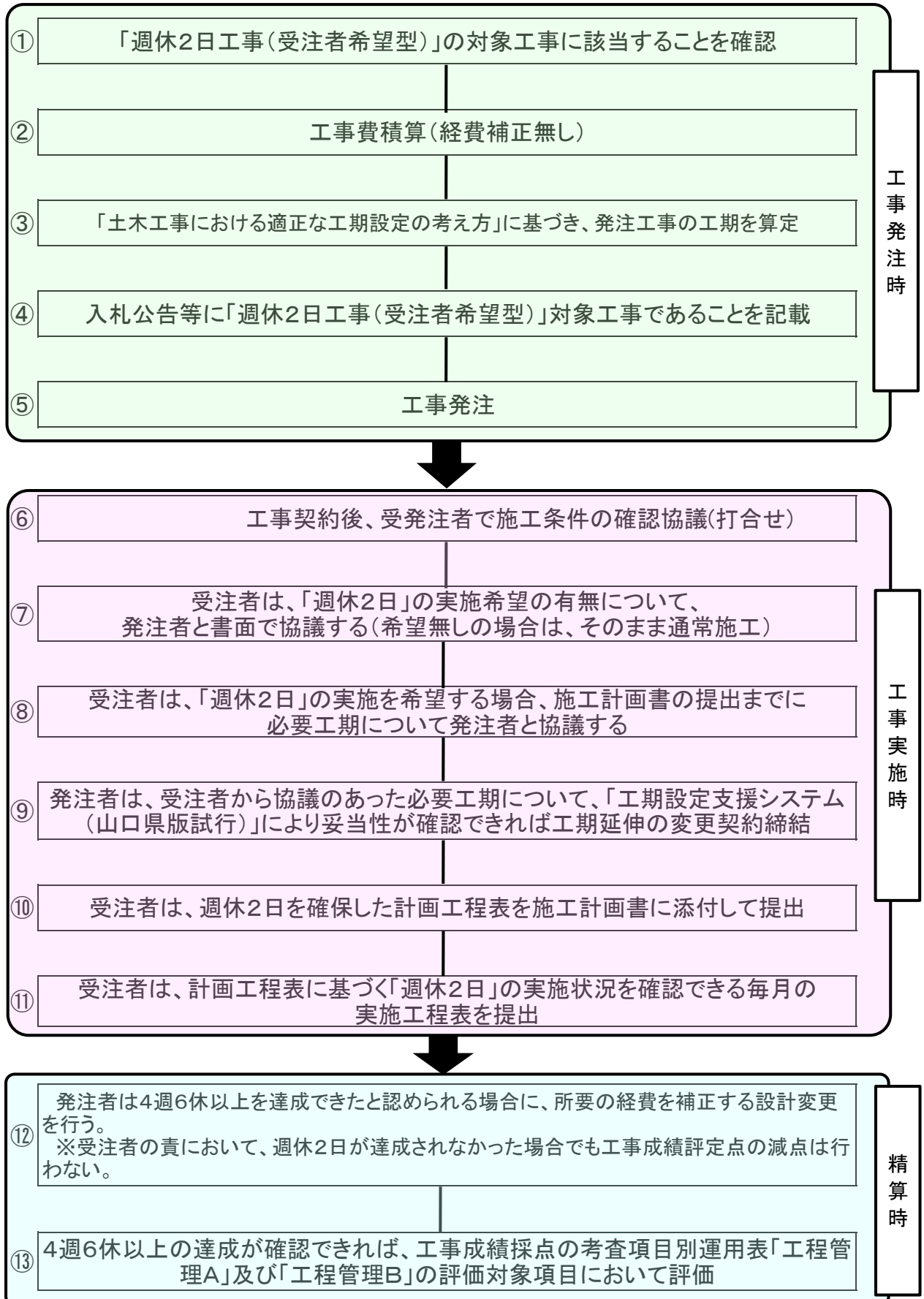
# 「週休2日工事」対象工事の発注から工事完成までの実施フロー

【発注者指定型の場合】



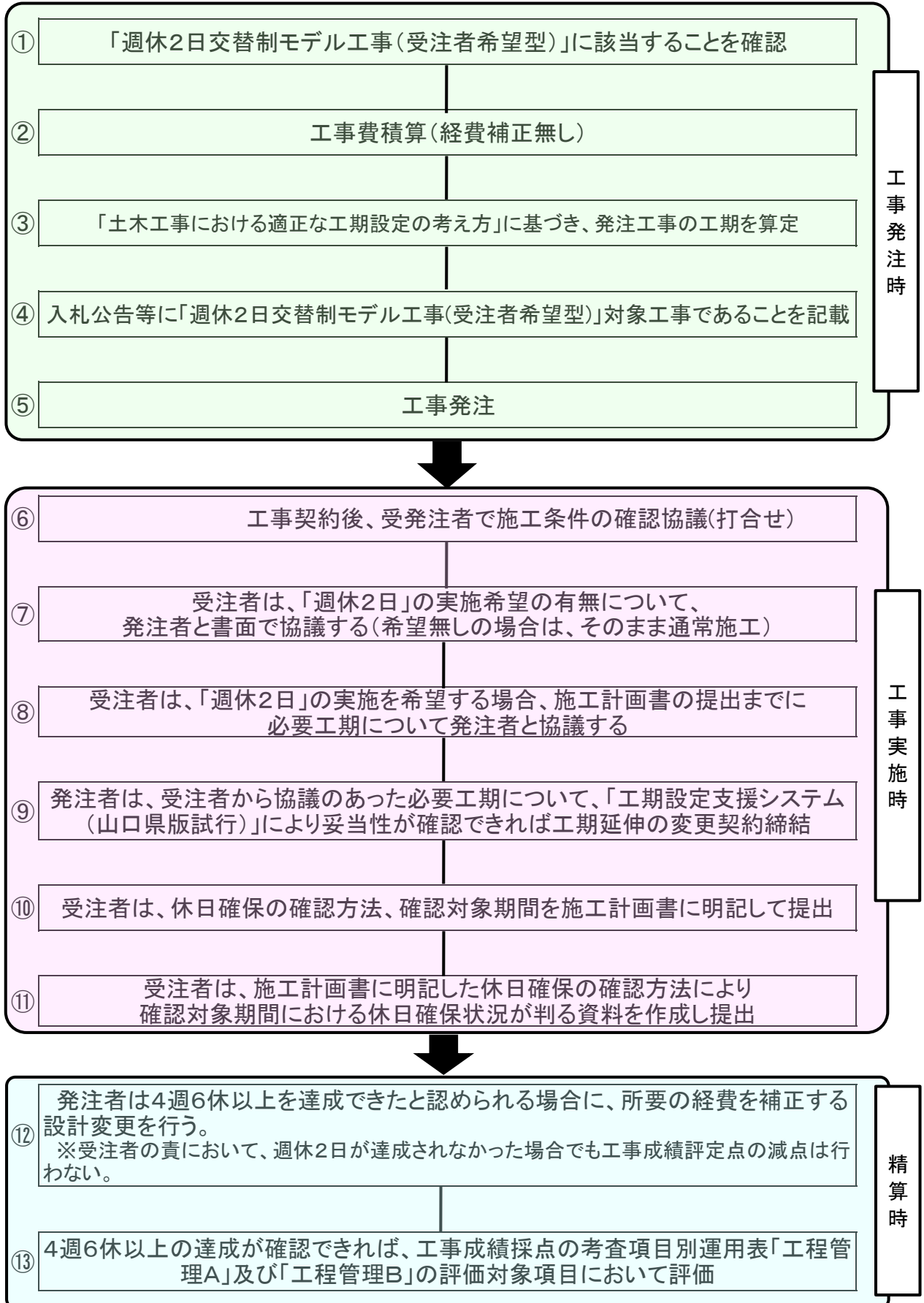
## 「週休2日工事」対象工事の発注から工事完成までの実施フロー

【受注者希望型の場合】



# 「週休2日交替制モデル工事」対象工事の発注から工事完成までの実施フロー

【受注者希望型の場合】





工事工程表(参考様式) 作成例

工事名: ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ 令和○年度

担当	主要工程等	令和○年度												備考 (パータイ(pt)数等)		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
受注者	準備工	★													4/10着手 30日間	準備と後片付けについては、工程上見込んでいる期間を明示する
"	○○工														1pt	
"	○○工														1pt	全体工期を設定する上で影響しない工程については工程表に記載しなくてもよい
"	○○工														2pt	
"	○○工														1pt	
"	○○工														1pt	
"	後片付け														20日間 2/28現場完了	準備と後片付けについては、工程上見込んでいる期間を明示する
発注者	関連工事														○○工事	
"	借地														○○市	
"	関係機関協議														○月～○月	特記仕様書に記載のある、工程計画に影響のある制約条件については、全て記載する
"	支障物件(○○)														○月移設予定	
"	夏季休暇、年末年始														8/13～8/15 12/29～1/3	

表は、行・列の追加など、適宜加工して用いること

準備と後片付けについては、工程上見込んでいる期間を明示する

全体工期を設定する上で影響しない工程については工程表に記載しなくてもよい

準備と後片付けについては、工程上見込んでいる期間を明示する

特記仕様書に記載のある、工程計画に影響のある制約条件については、全て記載する

地域の実状や自然条件などを踏まえ適宜設定

注)本工事工程表は参考資料であるため、契約上の拘束力を生じるものではない。  
 工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

◆参考様式

【実施工程表】(記入例)

工事名: ○○○○○○○○○○○○工事 第○工区

現場作業着手日	R4.4.1	現場作業完了日	R4.9.30	対象期間A	183	現場閉所日数B(累計)	50	現場閉所率(B/A×100)	27.3%
---------	--------	---------	---------	-------	-----	-------------	----	----------------	-------

凡 例	
○	休日
●	振替休日
作	作業日
振作	振替作業日
×	振替休日が取得できなかった作業日
止	工事一時中止期間・理導不稼働期間

【別紙4】

作成日: RO.O.O

令和4年4月 作業工種	計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
準備工	計画																								
	実績																								
仮設工	計画																								
	実績																								
土工	計画																								
	実績																								
○○建設(株)	計画																								
	実績																								
受注者	当月現場閉所日数(実績)	9																							
	当月対象期間(実績)	27																							
当月現場閉所率(実績)		33.3%																							

祝日

2  
2  
日の振替作業日

降雨

工事一時中止

工事一時中止

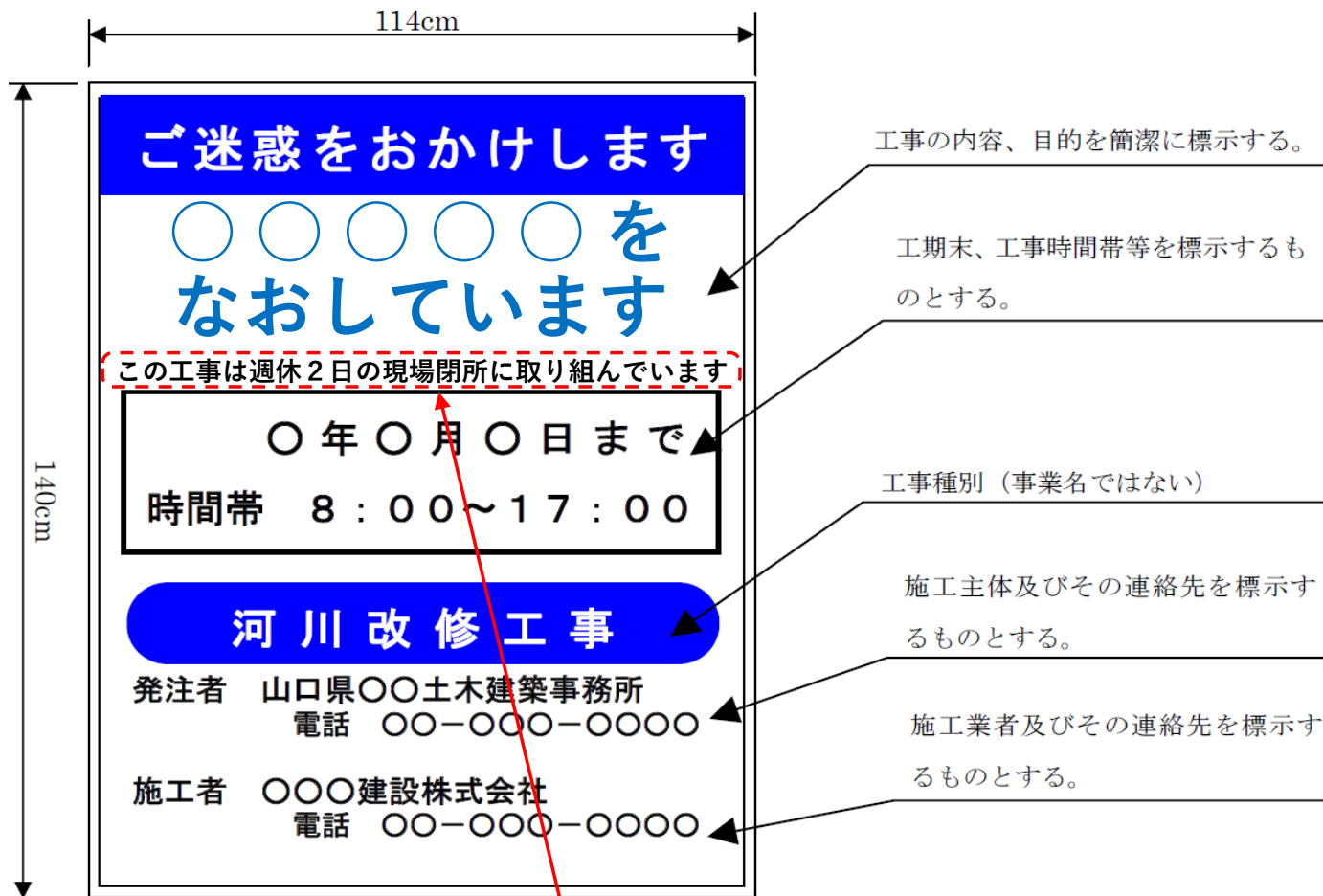
工事一時中止

5日の振替作業日

9日の振替休業日

工事標示板（作成例）

【適用：週休2日工事】



週休2日の現場閉所に取り組んでいることを標示する。  
「この工事は週休2日の現場閉所に取り組んでいます」  
(文字：ヒラギノ角7、色：スミ 135pt)  
※もしくはそれに相当する太さ、大きさの文字